

## 5. 障害者スポーツに関することについて

### (1) 障害者スポーツの推進でもたらされる効果

問35 障害者スポーツを積極的に推進することでもたらされる効果は何であると思いますか。(複数回答可)

○障害者スポーツの推進でもたらされる効果は、「障害者と健常者との交流のきっかけ」が50.7%で最も多く、以下、「障害者の体力づくりや心身の健全育成」が39.2%、「地域のスポーツ活動に障害者が気軽に参加できる地域づくり」が36.8%と続いている。

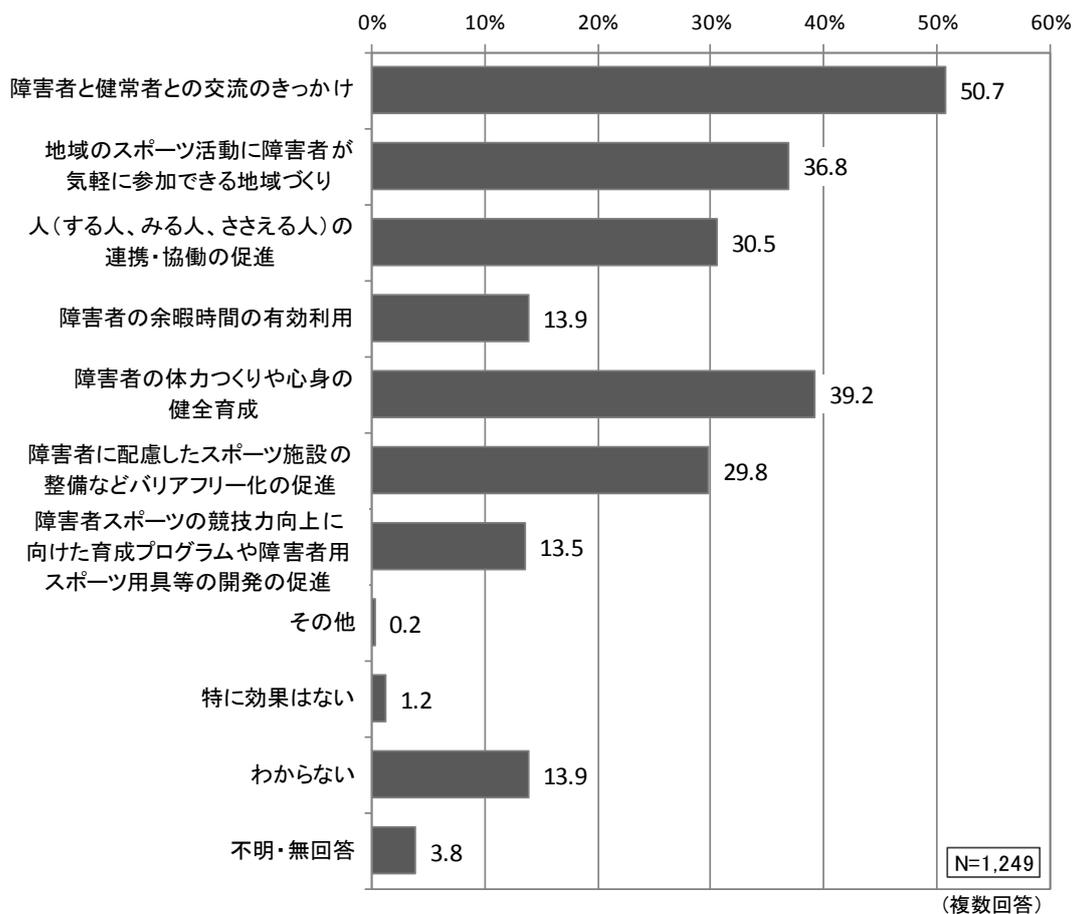


図 91 障害者スポーツの推進でもたらされる効果

- 性別にみると、男性・女性ともに「障害者と健常者との交流のきっかけ」が最も多く、以下、「障害者の体力づくりや心身の健全育成」、「地域のスポーツ活動に障害者が気軽に参加できる地域づくり」が続いている。
- 年代別にみると、すべての年代で「障害者と健常者との交流のきっかけ」が最も多くなっている。「障害者の体力づくりや心身の健全育成」については、年代による差が大きく、30歳代では54.1%であるのに対し、70歳代以上では30.0%と24.1ポイントの差がある。
- 居住地域別にみると、すべての地域で「障害者と健常者との交流のきっかけ」が最も多く、次いで、京都市では「障害者の体力づくりや心身の健全育成」、南丹では「人（する人、みる人、ささえる人）の連携・協働の促進」、他の3地域では「地域のスポーツ活動に障害者が気軽に参加できる地域づくり」となっている。

単位：%

※太字は上位3つ(「その他」、「わからない」、「不明・無回答」を除く)、下線は最上位

(複数回答)		障害者と健常者との 交流のきっかけ	地域のスポーツ活動に 参加できる地域づくり	人(する人、みる人、 ささえる人)の 連携・協働の促進	障害者の余暇時間の 有効利用	障害者の体力づくりや 心身の健全育成	障害者に配慮した スポーツ施設の整備など バリアフリー化の促進	障害者用スポーツ用具等 の開発の促進	障害者スポーツの 競技力向上に向けた 育成プログラムや 障害者用スポーツ用具等 の開発の促進	その他	特に効果はない	わからない	不明・無回答
全体 (N=1,249)		<b>50.7</b>	<b>36.8</b>	30.5	13.9	<b>39.2</b>	29.8	13.5	0.2	1.2	13.9	3.8	
性別	男性 (n=523)	<b>47.2</b>	<b>33.1</b>	30.8	13.8	<b>38.2</b>	26.2	12.6	0.6	1.0	17.0	2.9	
	女性 (n=697)	<b>53.2</b>	<b>39.6</b>	30.3	14.3	<b>40.6</b>	32.6	14.5	0.0	1.4	11.6	4.6	
年代別	20歳代以下 (n=102)	<b>52.9</b>	<b>41.2</b>	26.5	24.5	<b>41.2</b>	34.3	12.7	0.0	2.0	10.8	0.0	
	30歳代 (n=111)	<b>59.5</b>	<b>39.6</b>	34.2	24.3	<b>54.1</b>	36.9	17.1	0.0	1.8	6.3	0.9	
	40歳代 (n=142)	<b>52.1</b>	<b>34.5</b>	27.5	15.5	<b>46.5</b>	28.9	14.1	0.7	3.5	15.5	0.0	
	50歳代 (n=193)	<b>62.7</b>	36.8	<b>40.4</b>	18.1	<b>43.5</b>	37.3	16.1	0.0	0.5	6.7	2.6	
	60歳代 (n=300)	<b>53.3</b>	<b>40.7</b>	30.3	10.3	<b>39.0</b>	31.7	16.0	0.0	0.7	14.3	1.3	
	70歳代以上 (n=397)	<b>38.8</b>	<b>32.5</b>	26.7	8.3	<b>30.0</b>	21.7	9.3	0.5	0.8	19.4	9.6	
居住地域別	京都市 (n=646)	<b>49.7</b>	<b>33.9</b>	29.9	14.7	<b>40.2</b>	28.8	12.5	0.2	0.9	15.0	4.0	
	乙訓・山城 (n=347)	<b>53.9</b>	<b>40.9</b>	29.4	14.7	<b>38.9</b>	33.4	15.3	0.6	2.0	12.1	3.7	
	南丹 (n=78)	<b>50.0</b>	32.1	<b>38.5</b>	5.1	<b>37.2</b>	26.9	11.5	0.0	0.0	12.8	3.8	
	中丹 (n=117)	<b>47.9</b>	<b>42.7</b>	33.3	16.2	<b>41.0</b>	29.1	16.2	0.0	0.0	12.8	3.4	
	丹後 (n=56)	<b>44.6</b>	<b>35.7</b>	26.8	7.1	<b>28.6</b>	23.2	10.7	0.0	3.6	16.1	3.6	

図 92 障害者スポーツの推進でもたらされる効果《性別・年代別・居住地域別》

## (2) 障害者が気軽に運動やスポーツができるようにする手立て

問36 障害者が、日常生活の中で、気軽に運動やスポーツができるようにするためには、どのような手立てが必要だと思いますか。(複数回答可)

○障害者が気軽に運動やスポーツができるようにする手立ては、「障害者に配慮したスポーツ施設・設備の整備(トイレや施設入口のバリアフリー化など)」が54.0%で最も多く、以下、「障害者スポーツの拠点となるスポーツ施設の整備・拡充」が43.0%、「障害者をサポートするスポーツボランティアの育成」が32.5%、「スポーツ施設までの道路、公共交通機関などアクセス面の整備」が32.2%と続いている。

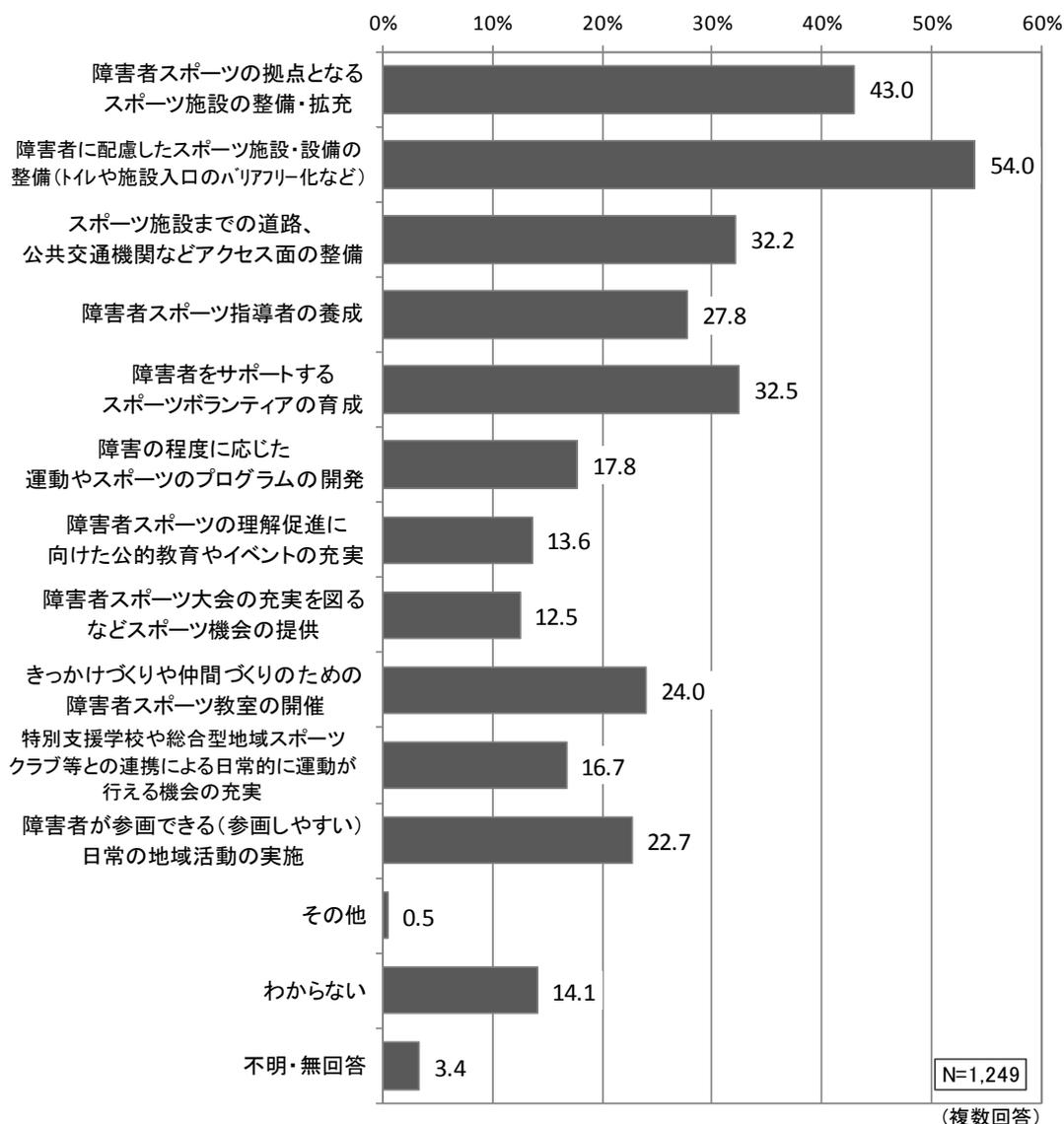


図 93 障害者が気軽に運動やスポーツができるようにする手立て

- 性別にみると、男性・女性ともに「障害者に配慮したスポーツ施設・設備の整備(トイレや施設入口のバリアフリー化など)」が最も多く、以下、「障害者スポーツの拠点となるスポーツ施設の整備・拡充」、「障害者をサポートするスポーツボランティアの育成」が続いている。
- 年代別にみると、すべての年代で「障害者に配慮したスポーツ施設・設備の整備(トイレや施設入口のバリアフリー化など)」が最も多くなっており、特に、30歳代(66.7%)と50歳代(65.3%)では6割以上とその割合が高い。次いで、すべての年代で「障害者スポーツの拠点となるスポーツ施設の整備・拡充」となっている。また、「きっかけづくりや仲間づくりのための障害者スポーツ教室の開催」と回答した割合は、30歳代(39.6%)が他の年代と比べて高くなっている。
- 居住地域別にみると、すべての地域で「障害者に配慮したスポーツ施設・設備の整備(トイレや施設入口のバリアフリー化など)」が最も多くなっている。「障害者をサポートするスポーツボランティアの育成」については、地域による差が大きく、中丹では40.2%であるのに対し、南丹では19.2%と21.0ポイントの差がある。また、「障害者スポーツの拠点となるスポーツ施設の整備・拡充」についても差が大きく、中丹(47.9%)、京都市(44.4%)、乙訓・山城(42.4%)では4割以上であるのに対し、南丹では28.2%となっている。

単位：%

※太字は上位3つ(「その他」、「わからない」、「不明・無回答」を除く)、下線は最上位

(複数回答)		障害者スポーツの拠点となるスポーツ施設の整備・拡充	障害者に配慮したスポーツ施設・設備の整備(トイレや施設入口のバリアフリー化など)	スポーツ施設までの道路、公共交通機関などアクセス面の整備	障害者スポーツ指導者の養成	障害者をサポートするスポーツボランティアの育成	障害の程度に応じた運動やスポーツのプログラム開発	障害者スポーツの公的支援やイベントの充実	障害者スポーツ大会の充実を図るなどスポーツ機会の提供	障害者スポーツ大会の開催	きつかけづくりや仲間づくりのための障害者スポーツ教室の開催	特別支援学校や総合型地域スポーツクラブ等との連携による日常的に運動が行える機会の充実に	障害者が参画できる(参画しやすい)日常の地域活動の実施	その他	わからない	不明・無回答
全体 (N=1,249)		43.0	<u>54.0</u>	32.2	27.8	<b>32.5</b>	17.8	13.6	12.5	24.0	16.7	22.7	0.5	14.1	3.4	
性別	男性 (n=523)	43.6	<u>48.9</u>	28.7	27.2	<b>29.4</b>	16.4	13.8	13.8	20.7	14.3	20.7	0.4	17.6	3.4	
	女性 (n=697)	42.8	<u>58.1</u>	35.2	29.0	<b>35.4</b>	18.5	13.8	11.5	27.1	18.8	24.8	0.6	11.6	3.3	
年代別	20歳代以下 (n=102)	45.1	<u>51.0</u>	<b>38.2</b>	21.6	27.5	16.7	17.6	13.7	24.5	17.6	20.6	0.0	14.7	1.0	
	30歳代 (n=111)	49.5	<u>66.7</u>	<b>42.3</b>	36.0	41.4	24.3	25.2	19.8	39.6	24.3	25.2	2.7	6.3	0.9	
	40歳代 (n=142)	42.3	<u>57.7</u>	33.1	28.2	<b>33.8</b>	16.2	14.8	12.0	28.9	19.7	18.3	1.4	14.1	0.0	
	50歳代 (n=193)	55.4	<u>65.3</u>	38.9	36.3	<b>43.5</b>	24.4	16.1	16.6	26.4	26.4	27.5	0.5	7.3	0.5	
	60歳代 (n=300)	46.0	<u>58.3</u>	<b>33.3</b>	32.0	33.0	20.0	13.7	13.0	22.3	14.0	26.0	0.0	10.7	1.7	
	70歳代以上 (n=397)	32.2	<u>41.1</u>	23.2	19.6	<b>24.9</b>	11.8	7.8	8.1	18.1	10.6	19.4	0.0	22.2	8.6	
居住地域別	京都市 (n=646)	44.4	<u>53.9</u>	32.4	26.0	<b>33.0</b>	16.9	12.5	11.6	24.1	17.2	22.3	0.8	13.5	3.6	
	乙訓・山城 (n=347)	42.4	<u>54.8</u>	<b>35.4</b>	32.6	32.6	19.9	16.1	14.4	26.8	15.0	21.3	0.0	15.0	2.3	
	南丹 (n=78)	28.2	<u>53.8</u>	<b>29.5</b>	20.5	19.2	14.1	7.7	12.8	15.4	10.3	<b>28.2</b>	0.0	17.9	5.1	
	中丹 (n=117)	47.9	<u>53.8</u>	26.5	28.2	<b>40.2</b>	21.4	16.2	12.8	23.1	23.9	24.8	0.0	11.1	4.3	
	丹後 (n=56)	37.5	<u>51.8</u>	23.2	<b>28.6</b>	<b>28.6</b>	12.5	14.3	10.7	21.4	16.1	25.0	1.8	17.9	3.6	

図 94 障害者が気軽に運動やスポーツができるようにする手立て《性別・年代別・居住地域別》

### (3) 京都府が障害者スポーツの競技力向上のために取り組むべき施策

問37 東京2020パラリンピック競技大会を控え、京都府が障害者スポーツの競技力向上に向けて取り組むべきことはどのようなことだと思いますか。(複数回答可)

○京都府が障害者スポーツの競技力向上のために取り組むべき施策は、「障害者スポーツの拠点となるスポーツ施設の整備・拡充」が54.5%で最も多く、以下、「障害者アスリートを育成する障害者スポーツ指導者の養成」が38.5%、「障害者アスリートへの財政的な支援活動」が33.3%、「障害者スポーツをサポートするスポーツボランティアの育成」が33.2%と続いている。

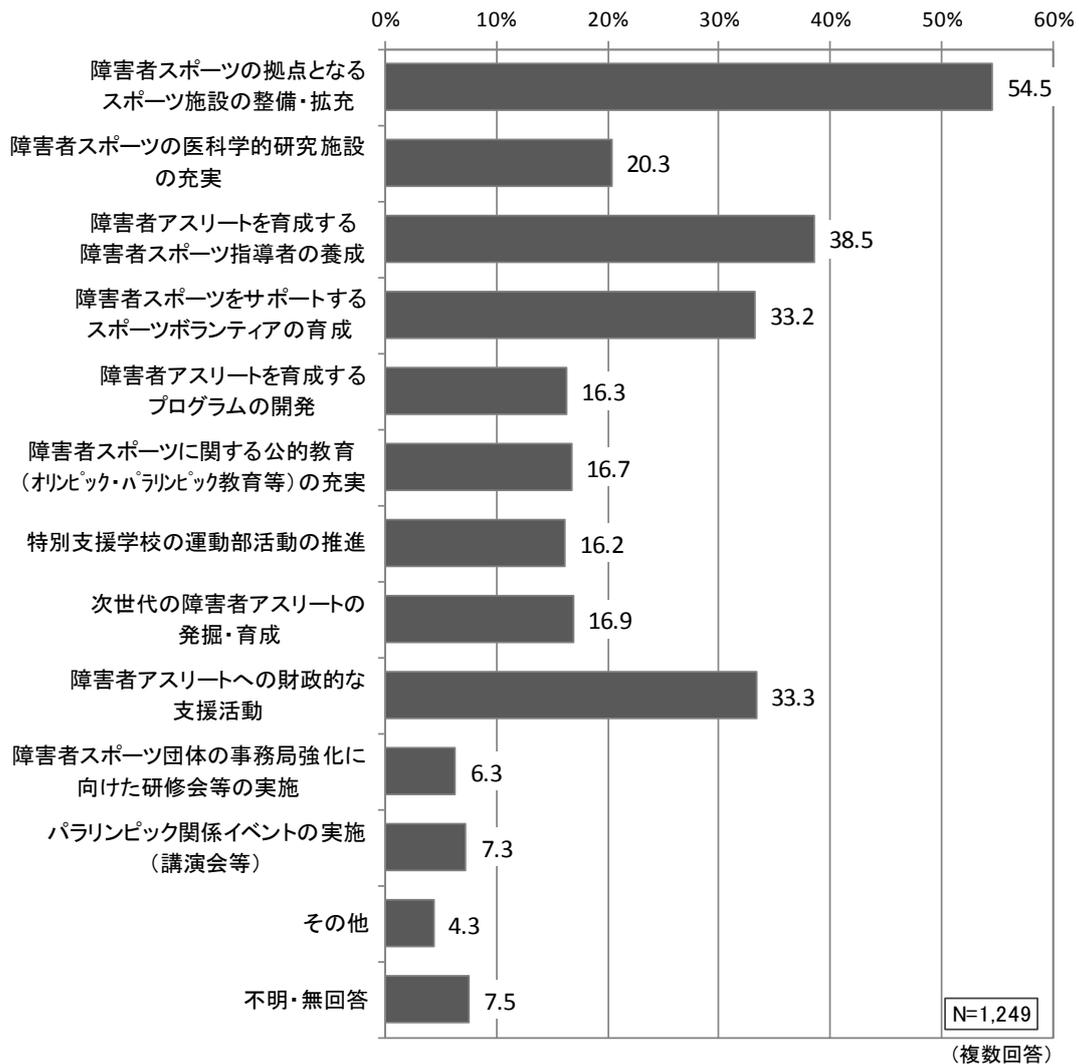


図 95 京都府が障害者スポーツの競技力向上のために取り組むべき施策

- 性別にみると、男性・女性ともに「障害者スポーツの拠点となるスポーツ施設の整備・拡充」が最も多く、次いで、「障害者アスリートを育成する障害者スポーツ指導者の養成」となっている。「障害者アスリートへの財政的な支援活動」については、男女差がやや大きく、男性では28.5%であるのに対し、女性では37.6%と9.1ポイントの差がある。
- 年代別にみると、すべての年代で「障害者スポーツの拠点となるスポーツ施設の整備・拡充」が最も多くなっており、特に、50歳代（65.3%）、60歳代（61.7%）では6割以上とその割合が高い。「障害者アスリートを育成するプログラムの開発」については、年代による差が大きく、50歳代では26.9%であるのに対し、70歳代以下では7.3%と19.6ポイントの差がある。
- 居住地域別にみると、すべての地域で「障害者スポーツの拠点となるスポーツ施設の整備・拡充」が最も多くなっている。「障害者アスリートを育成する障害者スポーツ指導者の養成」については、地域による差が大きく、中丹では47.9%であるのに対し、南丹では25.6%と22.3ポイントの差がある。

単位：%

※太字は上位3つ(「その他」、「不明・無回答」を除く)、下線は最上位

複数回答		障害者スポーツの拠点となるスポーツ施設の整備・拡充	医学的・科学的な研究施設の充実	障害者スポーツの養成・指導者の養成	障害者スポーツをサポートするボランティアの育成	障害者アスリート育成プログラムを開発	障害者スポーツに関する公的教育(オリンピックピック・パラリンピック教育等)の充実	特別支援学校の運動部活動の推進	次世代の障害者アスリートの発掘・育成	障害者アスリートへの財政的な支援活動	障害者スポーツ団体の事務局強化に向けた研修会等の実施	パラリンピック関係イベントの実施(講演会等)	その他	不明・無回答
全体 (N=1,249)		<b>54.5</b>	20.3	<b>38.5</b>	33.2	16.3	16.7	16.2	16.9	<b>33.3</b>	6.3	7.3	4.3	7.5
性別	男性 (n=523)	<b>54.5</b>	21.0	<b>36.7</b>	<b>29.8</b>	15.9	16.1	18.0	16.4	28.5	6.7	7.3	5.5	6.9
	女性 (n=697)	<b>55.2</b>	20.4	<b>40.3</b>	36.0	16.9	17.1	15.5	17.1	<b>37.6</b>	6.2	7.6	3.2	7.7
年代別	20歳代以下 (n=102)	<b>51.0</b>	18.6	<b>37.3</b>	27.5	19.6	15.7	17.6	18.6	<b>30.4</b>	3.9	9.8	6.9	2.0
	30歳代 (n=111)	<b>58.6</b>	27.9	<b>38.7</b>	36.0	22.5	18.9	28.8	24.3	<b>41.4</b>	8.1	16.2	3.6	1.8
	40歳代 (n=142)	<b>49.3</b>	19.0	<b>35.9</b>	<b>35.2</b>	21.1	19.7	22.5	19.7	33.8	7.7	7.0	8.5	2.1
	50歳代 (n=193)	<b>65.3</b>	24.4	<b>43.0</b>	<b>45.1</b>	26.9	20.2	17.6	21.2	41.5	8.3	6.2	1.6	2.6
	60歳代 (n=300)	<b>61.7</b>	20.0	<b>44.3</b>	33.0	15.7	17.7	15.3	15.7	<b>39.0</b>	6.7	5.3	2.3	6.7
	70歳代以上 (n=397)	<b>45.8</b>	17.6	<b>33.2</b>	<b>27.5</b>	7.3	12.6	10.1	12.1	23.4	4.8	6.3	5.0	15.6
居住地域別	京都市 (n=646)	<b>57.6</b>	19.7	<b>39.2</b>	<b>32.7</b>	16.1	17.2	15.0	15.2	32.5	6.3	7.4	4.8	6.8
	乙訓・山城 (n=347)	<b>53.3</b>	21.6	<b>38.0</b>	35.7	16.4	17.6	18.7	19.6	<b>36.0</b>	6.1	6.9	3.5	7.2
	南丹 (n=78)	<b>48.7</b>	16.7	<b>25.6</b>	23.1	12.8	12.8	9.0	10.3	<b>35.9</b>	6.4	9.0	5.1	6.4
	中丹 (n=117)	<b>50.4</b>	24.8	<b>47.9</b>	<b>32.5</b>	20.5	15.4	23.1	19.7	26.5	7.7	6.8	3.4	12.8
	丹後 (n=56)	<b>44.6</b>	17.9	33.9	<b>39.3</b>	14.3	12.5	10.7	23.2	<b>37.5</b>	5.4	7.1	3.6	8.9

図 96 京都府が障害者スポーツの競技力向上のために取り組むべき施策《性別・年代別・居住地域別》